

令和6年能登半島地震 藤沢市消防局派遣部隊活動報告



緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response

普段は、皆さんの住む市町村を守る消防士・・・・・・・・

しかし、大規模災害や特殊災害が発生した場合は、被災地の消防機関では対処できないことがあります。

そんなとき、被災地からの要請を受け、各都道府県の消防本部や航空隊が、空から陸から応援に駆けつけます。

この応援部隊こそが、「緊急消防援助隊」なのです。





藤沢市消防局の活動概要



【派遣期間】 1月9日から2月12日 34日間

【出勤人員】 40隊139人

【派遣場所】

(1) 活動場所：石川県輪島市町野町寺山及び輪島市市ノ瀬町

(2) 宿営場所：やなぎだ植物公園（石川県鳳珠郡能登町）

【活動内容】

(1) 救助小隊：地震による土砂災害現場の救助活動

(2) 特殊装備小隊：宿营地内の生活水供給活動及び活動隊員除染活動

(3) 後方支援小隊：活動隊員支援及び救助現場への人員輸送

- ① 移動時の様子、宿営地の様子
- ② 救助小隊の活動
- ③ 特殊装備小隊の活動
- ④ 女性職員の派遣
- ⑤ 消防局からのお願い

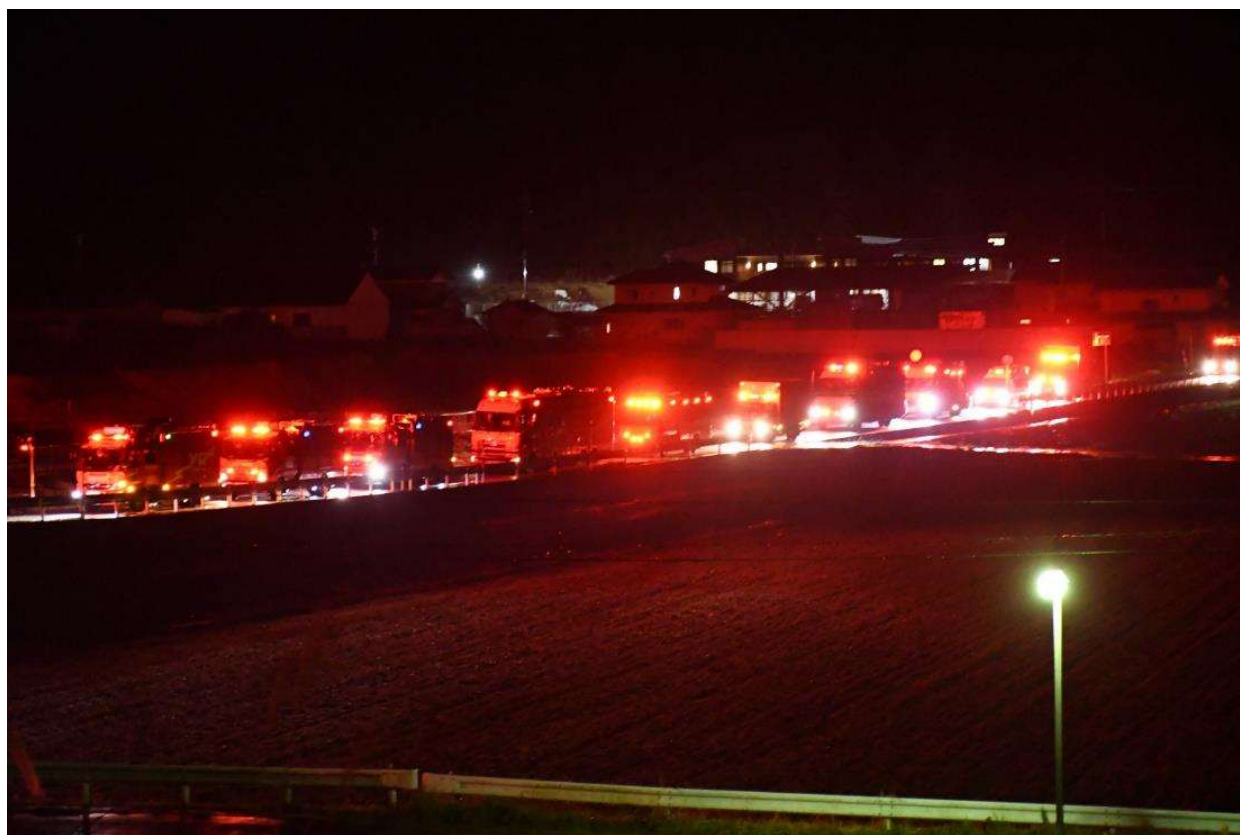
- ① 移動時の様子、宿営地の様子
- ② 救助小隊の活動
- ③ 特殊装備小隊の活動
- ④ 女性職員の派遣



緊急消防援助隊

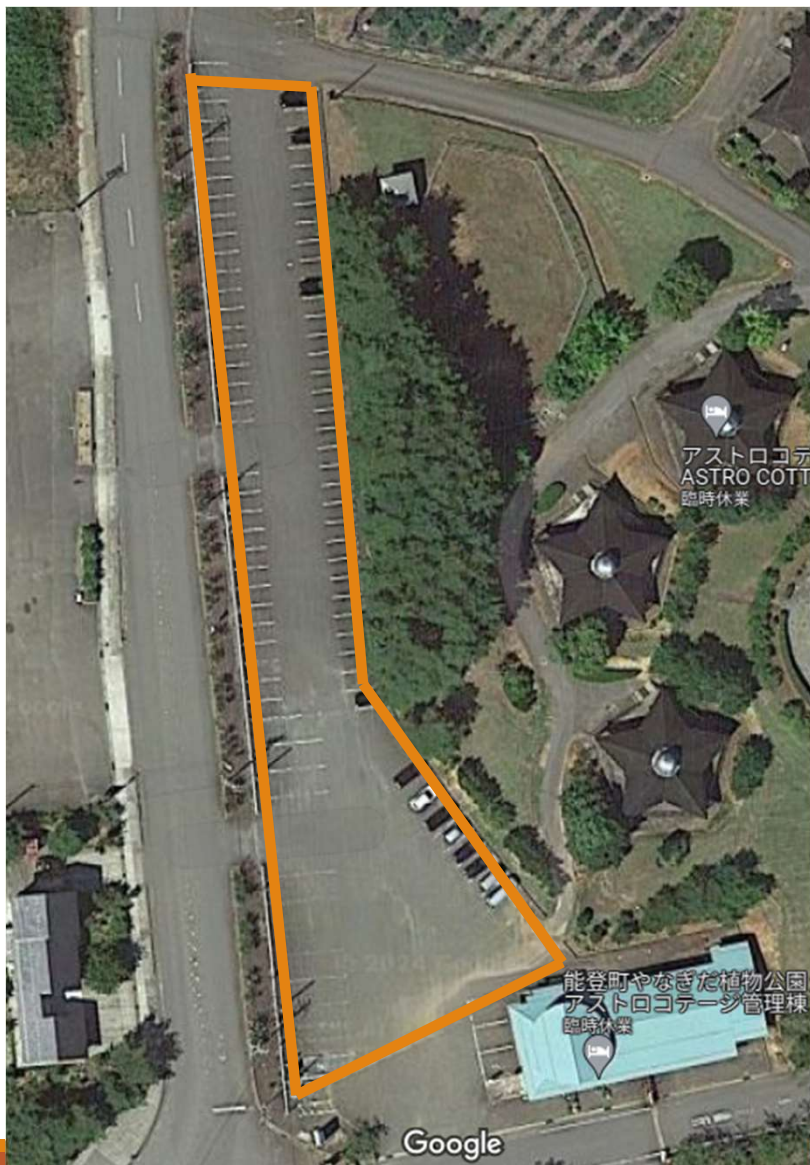
National Fire Service Team for Disaster Response











緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response









緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response









簡易トイレ





仮設トイレ



- ① 移動時の様子、宿営地の様子
- ② 救助小隊の活動
- ③ 特殊装備小隊の活動
- ④ 女性職員の派遣

救助活動



進出拠点（宿营地）

やなぎだ植物公園

石川県鳳珠郡能都町上町

搜索活動現場①

石川県輪島市町野町寺山

（令和6年1月11日～1月26日）

搜索活動現場②

石川県輪島市市ノ瀬町

（令和6年1月27日～2月11日）



道路状況



搜索活動現場①



若山ダムから現場まで徒歩移動 約1時間30分



搜索活動現場① (令和6年1月11日～1月26日)



搜索活動現場②



搜索活動現場② (令和6年1月27日～2月11日)



救助犬による搜索



神奈川県大隊・兵庫県大隊・警視庁との合同搜索活動

搜索活動現場② (令和6年1月27日～2月11日)



重機を活用しての搜索活動



- ① 移動時の様子、宿営地の様子
- ② 救助小隊の活動
- ③ 特殊装備小隊の活動
- ④ 女性職員の派遣

10t 水槽車の活動



補水時の状況



輪島市上下水道局



10t 水槽車の主な使用方法



- ① レトルト食品等の湯せん用水
- ② 仮設トイレの洗浄水
- ③ 手洗い・資器材の洗浄用水
- ④ 消火用水
- ⑤ デコンタミネーション

デコンタミネーションの様子



デコンタミネーションの様子



- ① 移動時の様子、宿営地の様子
- ② 救助小隊の活動
- ③ 特殊装備小隊の活動
- ④ 女性職員の派遣

女性職員の派遣について



第4次派遣（女性職員）

横浜、川崎、逗子
座間、箱根、藤沢

計6人

記録担当1人（横浜）：各部隊の活動記録・撮影
消火小隊1人（座間）：消防水利の状況調査等
後方支援4人（川崎、逗子、箱根、藤沢）

後方支援隊

- 食事の準備
- 衛生管理（ゴミ、トイレ等）
- 暖房器具等の燃料補給
- 宿営地の清掃、雪かき
- テント内の整理整頓
- 活動隊員の洗浄
- マイクロバスでの活動隊員搬送









藤沢市消防局女性職員の派遣状況

第4次派遣	1人	}	日勤職員
第5次派遣	1人		
第6次派遣	1人		
第8次派遣	1人		救助隊員

延べ139人のうち4人（約3%）



第8次派遣 女性救助隊員





派遣で感じた日ごろからの備えについて



震災時火災について
トイレについて
生活用水について





「輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」

資料 2

令和6年能登半島地震において発生した輪島市大規模火災における
消防庁長官の火災原因調査

<3月18日時点>

総務省消防庁消防研究センター



緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response

1. 火災の概要等

資料 2

消防研究センターでは、令和6年1月1日に能登半島地震において発生した輪島市大規模火災における消防庁長官の火災原因調査を実施しているところ。

○火災の概要について

(1) 発生日時等

発生時刻: 令和6年1月1日 調査中
覚知時刻: 令和6年1月1日 17時23分頃
鎮圧時刻: 令和6年1月2日 7時30分
鎮火時刻: 令和6年1月6日 17時10分

(2) 火元建物

石川県輪島市河井町地内

(3) 物的被害

・焼損棟数: 約240棟
・焼失面積: 約49,000㎡

○輪島市大規模火災における出火・延焼の要因等について

・火災原因については、奥能登消防と石川県警などと協力して調査を実施中。火元と思われる建物の調査において、火気器具等の使用がなかったこと、屋内電気配線に溶けた痕跡が認められること等から、出火原因については現在調査中であるが、屋内電気配線等に溶けた痕跡が認められたことから、地震の影響により電気に起因した火災が発生した可能性が考えられる。(調査継続中)。

・延焼動態と焼け止まり状況を調査分析したところ、街区東・南側の一部は、消火活動が延焼阻止に大きく寄与していた。

・市街地火災延焼シミュレーションに基づく検証では、仮に消防活動が行われなかった場合、倍以上に当たる面積が焼失する可能性があることが分かった。

※ 今後、プロパンガスボンベによる延焼拡大への影響について調査予定。



藤沢市 予防課 HP 通電火災

通電火災対策について

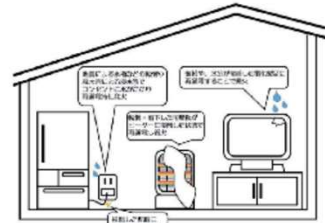
予防課

近年、台風や地震などの自然災害により、大規模かつ長時間に及ぶ停電が発生しており、停電からの復旧後の再通電時に火災が起きる、いわゆる「通電火災」の発生が懸念されています。

阪神・淡路大震災や東日本大震災の被害状況から、通電火災は、特に、地震による停電が発生した際に危険されていますが、昨年発生した台風第15号による長時間の停電復旧後に、通電火災と疑われる火災が発生したように、地震発生時だけでなく、台風などの風水害発生時においても対策が必要となります。

また、自然災害の発生に伴う停電から時間が経過した後の復旧時に発生した場合、住民が避難所等へ避難しており、出火時の初期消火が行えないといったおそれがあります。

【通電火災の主な原因】



地震発生時

- ・損傷した配線などに再通電し、発熱発火する。
- ・転倒したヒーターに可燃物（カーテン、じゅうたん等）が接触した状態で再通電し着火する。
- ・再通電時に発生した電氣的火花が、漏れ出たガスに引火、爆発する。

風水害発生時

- ・浸水や雨漏りによる、電化製品の基板等の損傷により、再通電時にショートが生じ発火する。
- ・コンセントに水分が付着し、再通電時にトラッキングが生じ発火する。

【出火防止対策】

停電発生時

- ・停電中は電気機器のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。
- ・停電中に自宅から離れる際はブレーカーを落とす。

通電再開時

- ・給電が再開されたら、浸水などにより電化製品が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全を確認してから電化製品を使用する。
- ・建物や電化製品等には外見上の損傷がなくとも、壁内の配線の損傷や電化製品内部の故障により、再通電後、長時間経過したのち火災に至ることがあるため、煙の発生などの異常を発見した際は直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡する。

印機からの働き

- ・漏電ブレーカーや、配線の損傷や短絡を検出し電気を自動で遮断するコード短絡保護機能が付いた住宅用分電盤を設置する。
- ・地震発生時に設定値以上の揺れを検知した時にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める感震ブレーカーを設置する。

このほか、日常使用している厨房器具については、対震自動消火装置や転倒OFFスイッチなどの安全装置付きのものを使用することや、地震時に可燃物の落下や転倒を防止するため、居室内の整理整頓、家具等の転倒防止を行うことも出火防止には有効です。

問い合わせ先

消防庁予防課 吉田、連川
TEL: 03-5253-7523

停電状態から通電されるとき「火災」に注意！

通電火災の主な原因

電気配線が
損傷している



分電盤

ブレーカー

可燃物が
ヒーターに
接触している



転倒した
電化製品が
可燃物に
接触している



電化製品に
水分が付着
している



電源コードが
損傷している

電化製品が
破損している





ご清聴 ありがとうございました